

受賞の言葉 習志野市まちづくり広報監 月村尚也

この度は優秀賞を賜りありがとうございました。今回、「新たな社会ニーズに応える革新的で先導的な計画を発掘」という趣旨にひかれ応募いたしました。論文に記載した通り、本計画は他の計画といささか趣を異にしています。計画が機能することに加えて、計画促進のために「理解、共感される」ことを目指し、計画自体の体裁、存在感を重視するという新しいコンセプトにしています。学究というものが狭く、深い道を目指す側面を有するのとは対極的に、実務の要請から平易、簡明を目指すものであり、やや評価しづらい面もあったかと思料しますが、その中でも一定の評価を頂いたことは光栄に存じます。

質疑の中で「計画の KPI は妥当か？」という質問に、上位計画の「まちひとしごと創生総合戦略」に資することが目標であり妥当であると回答しました。紙幅の関係で応募論文では割愛しましたが、定量的評価と同時に定性的評価も行っており、昨年調査では「大学生が住み続けたい、いずれまた習志野市に住みたい」と感じる割合は H27 年の 18.9%から 30%増の 24.5%であったことをご報告します。計画賞の今後のご発展をお祈り申し上げます。ありがとうございました。